

Japan
Handball
Association



☐	社会人
☐	学生
☐	高専
☐	高体連
☐	中体連
☐	小学生

☐	全国大会
☐	ブロック大会
☐	都道府県大会
☐	地区大会

☐	男子
☐	女子

試合 番号	A13
----------	-----

年月日	2026 年 8 月 20 日 (木)
大会名	第55回全国中学校ハンドボール大会

公 式 記 録 用 紙

A	宇土市立鶴城中学校										明石市立望海中学校										B
都道府県 岡山県				市町村 総社市				会場 きびじアリーナ										回戦 準決勝			
前半		A	B	最終 結果		A	B	第1 延長		A	B	第2 延長		A	B	7m追加 コンテスト		A	B		
7m得点/総数		A		チームタイムアウト						チームタイムアウト						B		7m得点/総数			
		4/4		1 22:28		2 前 24:23		3		1 20:37		2 前・後		3		1/1					

No.	鶴城中	G	W	2'	D	DR	No.	望海中	G	W	2'	D	DR
1	那須 玲衣						1	尾関 心由璃					
2	山本 清華						2	藤原 柚音					
3	長谷河 陽咲	5					3	葭岡 陽音	2		X		
4	長谷河 萌乃歌	4		/			4	黒上 美夏					
5	緒方 七美						5	川崎 里緒	11				
6 ○	岩崎 璃子	1					6	川崎 梨愛					
7	平江 心美	10		X			7	石井 杏奈					
8	野口 まなか	4					8	林 紗瑛	5		/		
9	中村 紀菜里	5					9	数元 桜葵	2				
10	平崎 友己名						11 ○	磯浜 璃亜	1				
11	山本 奈央						12	長井 禾凜		/			
12	高田 結生						13	長井 涼風					
13	前田 陽まり						14	難波 紗英					
14	長谷河 結花						16	松木 愛空	5		/		
16	濱野 聖彩												
A	光永 和之						B	陣崎 笑未					
B	坂本 光世						C	三浦 由美子					
							A	山田 美代子					

A	光永 和之	チーム役員A署名	山田 美代子	B
---	-------	----------	--------	---

レフェリー	金城 久徳	金城 康太	金城 久徳	金城 康太
TD	青野 雅裕	石原 圭二郎	青野 雅裕	石原 圭二郎
MO	山本 篤洋		山本 篤洋	

得点(G),警告 (W),退場(2),失格(D),報告書付き失格(DR)特記事項に報告書として内容を記入

令和8年度全国中学校体育大会 第55回全国中学校ハンドボール大会

女子 準決勝

令和8年8月20日(木)

於:きびじアリーナ

A	鶴城(熊本)	対	B	望海(兵庫)
---	--------	---	---	--------

29	15	前半	13	26
	14	後半	13	

昨年度の覇者、鶴城中学校と全国大会の常連、望海中学校の顔合わせになった準決勝は、望海中学校のスローオフで始まった。

前半、開始から両者譲らぬスピーディーな展開で鶴城8番野口のサイドシュート、望海3番葭岡のミドルシュートなどで開始4分で3対3の同点。鶴城は、7番平江をマンツーマンDFで封じられるが、5対5の状況を打開し得点を重ねる。一方の望海も、鶴城の立体DFに対して、5番川崎の強い1対1などで得点。点を取り合う展開に。前半10分で5対6と望海リード。その後も両者譲らず、両チームのキーパー望海12番長井、鶴城1番那須の好セービングもあり、17分で10対12で望海がリード。19分18秒、鶴城のカットインに対して守りに行った望海は、ここで2分間の退場、7mスローを与えてしまう。鶴城は、その直後にも連続して7mスローを獲得し、前半20分、12対12の同点に。ここで望海は、タイムカード。その後、ペースを掴んだ鶴城は、3得点、望海も点を返すが、15対13。前半終了間際、鶴城の得点のチャンスで3点差になるかと思われたが、代わったキーパー1番尾関の好セーブでこのままが前半終了。15対13で鶴城がリード。

後半、鶴城7番広江の3連続得点やキーパーの好セーブで前半からの鶴城のペースは変わらない。望海は、試合前半の後半から変えた鶴城の0-6DFに対してうまく点数が重ならない。望海は、後半5分、7mスローを獲得し、19対15とするが、鶴城リードは変わらない。望海は、後半マンツーマンを再開。16番松木のロングシュートや鶴城のミスからの得点で望海のペースに。しかし、12分、相次いで退場者が出て、2人少ない状況に。その間、鶴城は、得点を重ね、24対19と点差を広げていく。望海は、ダブルポストやポジションチェンジを用いた攻撃で点を取りに行くが、後半20分、26-23で鶴城がリード。3番長谷河のサイドシュートなどで連続得点、28対24。望海は、カットインで得点を返すも、ここで試合終了。29対26で鶴城の勝ちとなった。この後、府中ハンドボールクラブときびじアリーナセンターコートで行われる、決勝戦にのぞむ。